

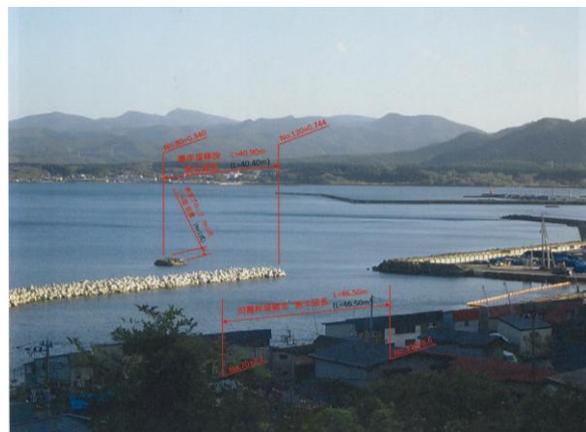
⑪小湊港地方創生推進船揚場（改良）工事（平内町大字東滝地内）

工事概要

整備状況



船揚場（改良）工事前の状況
令和5年8月



離岸堤移設後の状況
令和5年10月

小湊港は、陸奥湾中央部に突き出た夏泊半島の東側に位置し、古くから天然の良港として利用されてきました。

昭和30年代後半から導入されたホタテ養殖漁業は、その後、順調に推移し、平内町の基幹産業として成長を遂げ、小湊港はホタテ養殖漁業の生産基地として水産振興上重要な役割を果たしています。

小湊港地方創生推進船揚場（改良）工事は、老朽化が著しい間木4号及び6号船揚場を改良し、漁船の大型化による斜路長の不足の解消及び利用船舶の安全性向上を図るため平成29年度から事業に着手しています。船揚場が大型化することに伴い、漁船操船水域を確保する必要があることから、令和4年度までは離岸堤を沖合に移設する工事を中心に行ってきました。令和5年度からは、船揚場本体の施工に着手しており、令和6年度の工事完成を目指して工事を進めています。